

## 特別講演会

## 平成17年度特別講演会演題

講師名	所 属	講 演 名	講 演 日	担当者	備 考
Fabrice MOREL	フランス国立医科学研究所	薬物代謝酵素機能を保持するヒト文化肝癌細胞 HepaRG の性質と薬理学・毒性学への応用	平成17年4月25日	薬理部	
Anne CORLU	フランス国立医科学研究所	薬物代謝酵素機能を保持するヒト文化肝癌細胞 HepaRG の性質と薬理学・毒性学への応用	平成17年4月25日	薬理部	
Dr. Amin Rostami, Senior Lecturer	Division of Clinical Sciences (South), University of Sheffield	Optimizing the link between pre-clinical and clinical studies in drug development: the use of in vitro in vivo extrapolation (IVIVE)	平成17年6月1日	医薬安全科学部	
Jean-Luc Poncy	フランス原子力エネルギー研究所, 放射線生物学放射線病理学部門	低線量放射線によるバスタンダー（同乗者）効果について	平成17年7月19日	変異遺伝部	
桐野 豊	東京大学大学院薬学研究科教授	瞬目反射条件付けの分子神経機構	平成17年8月2日	機能生化学部	
石川 勉先生	千葉大学大学院薬学研究院	タイミラクルハーブ「プエラリア・ミリフィカ」: その化学的アプローチ	平成17年9月30日	生薬部	
Lawrence A. Loeb	米国ワシントン大学医学部	Creation of Enzymes for Biochemistry in Cancer Gene Therapy (がん遺伝子治療の生化学に有用な酵素の創製)	平成17年10月13日	変異遺伝部	
松田治男	広島大学生物生産学部免疫生物研究室 教授	鳥類免疫学への招待	平成17年10月27日	機能生化学部	
若林敬二	国立がんセンター・副所長	「ヒトがんの発生要因及び抑制要因を探し求めて」	平成17年10月31日	食品部 変異遺伝部	
城石俊彦	国立遺伝学研究所系統生物研究センター センター長	化学変異原 ENU によるマウス大規模ミュータジェネシス	平成18年1月31日	毒性部	
Dr. Kararina LeBlanc	Cetre for allogeneic stem cell transplantation Department of Laboratory medicine Karolinska Institute	Immunomodulation by mesenchymal stem cells (MSCs) in hematopoietic stem cell transplantation.	平成18年2月24日	遺伝子細胞 医薬部	